

観 点 ・ 小 問 ご と の 分 析	対 策 の 視 点
<p>8. 住民の生活をよくする施設としくみ 市議会の正答率は81%である。誤答例は、市役所を選んでいるものが多い。 保健所の正答率は75%である。誤答の大部分は病院と答えている。 浄水場の正答率は70%である。誤答は浄水場と下水処理場の区別ができていないものが目だつ。</p>	<p>。 見学学習などを通して、住民の生活をよくする施設としくみを具体的に指導する必要がある。そして、公共施設の名称とはたらきをおさえ、施設の区別ができるように指導したい。</p>
<p>観点①（知識・理解）について 観点①の平均正答率は61%であるが、小問によっては32～88%の差が見られる。 地域社会における社会事象を、地域の実態に応じて具体的に観察させる必要がある。観察が不可能な場合には、写真・絵・スライドなどを活用して、児童に深く印象づけることが大切である。 学習にでてくる基本的な固有名詞・用語などを精選し、活用の場をできるだけ多くする。また、ドリルなどを通して確実に定着させたい。</p>	
観 点 ・ 小 問 ご と の 分 析	対 策 の 視 点
<p>② 資料活用能力 1. 等高線・距離・方位などの地図の読み取り 土地の高さの読み取りは、62%である。縮尺からの実際の距離の算出と方位の見方の正答率は、それぞれ54%、46%である。 距離についての誤答例は、30km、10kmを選んだものが多い。 方位は、北東や北西としたものが多い。</p>	<p>。 地図指導については、4年で初めて地図帳を使うようになるので、この際、地図利用の基本となる地図の記号・方位・縮尺等をしっかりと指導し、さらに日常生活の中に地図帳を使う機会を多くする。</p>
<p>2. 農業の様子を学習するための資料の選択と活用 10年前の農地利用の割合の変化を求める正答率は68%で、誤答例は、土地の様子、地形の様子、野菜の作付面積等を選び、ちらばりがみられる。</p>	<p>。 グラフや地図を見る場合は、まず、何を表したのか表題に注目させる。次に、グラフの単位・年次・記号・内容を読み取らせる。その後、地図やグラフに書かれているねらいや特徴をつかませるように訓練し、正しい読み取りができるようにする。</p>